

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	脊柱側弯症の病態解明および治療法確立のための多施設共同研究
研究責任者	大谷 隼一
研究機関名	特定非営利活動法人 日本脊柱変形協会
研究目的と意義	<p>脊柱側弯症とは、脊柱がさまざまな原因で弯曲していく疾患である。近年、脊椎外科領域の治療は大きく発展したが、脊柱側弯症は依然、最も治療に難渋する疾患の一つである。脊柱側弯症の原因として、結合組織、骨、代謝の異常に起因する症候性側弯症、筋組織の異常に起因する筋原性側弯症、神経組織の異常に起因する神経原性側弯症などがある。しかし、疾患の頻度は病態の解明や治療成績を評価するには決して多いとはいえず、一施設の症例数では正確な実態の把握や治療方針の確立は困難な状況にある。そこで脊柱側弯症の病態解明および治療法の確立のために、側弯症治療施設で診療情報を共有することを計画した本研究の目的は、当施設および共同研究機関における脊柱側弯症例の診療データ(臨床データ、画像データ、選択された手術方法、手術成績、QOLの結果など)を共同研究機関で収集し、その情報を評価し、本症の病態と本症に対する最適な治療法を明らかにすることである。</p>
研究方法	<p>保存的加療または手術治療が行われ、1年以上の追跡調査が可能であった脊柱側弯症患者。当施設および共同研究機関における脊柱側弯症例の診療データ(臨床データ、画像データ、選択された手術方法、手術成績、QOLの結果など)を共同研究機関で後ろ向きおよび前向きに収集し、その情報を評価し、本症の病態と本症に対する最適な治療法を明らかにすることである。データ使用に関して、対象患者は担当者に申し出ることによってデータ使用を禁止することができる。また、本研究への参加を承諾しないことで、患者に医学的不利益を被ることはない。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 脊椎整形外科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：大谷 隼一 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>